

2017年〈平成29年〉6月7日(水曜日)

## 簡易情報連絡端末でIoT提案

NKU



井上 隆登氏

各種自動化機器や電子ネットワーク機器メーカーのNKU(社長)中村道一氏、本社・京都府長岡京市馬場(図所27)は、既存設備に後付けできる簡易情報連絡端末「れんら君」シリーズについて、アナログ入力値(入力点)に対応する「アナログれんら君」に信号出力機能を付加した新機種を今春から発売した。センサーによって感知した温湿度などの環境情報を「アナログれんら君」で収集。その情報に基づき「アナ

ログれんら君」から信号を発信して外部機器のオン/オフ制御などに連動できる。同社は手軽にIoT(モノのインターネット)を構築できるツールとして工場向けに新機種を提案していく考え。「れんら君」シリーズは各種センサーと接続することで、設備や環境の変化を可視化したり、異常が発生した場合に設備管理者にメールで自動通知したりできる。インター

ネットへの接続環境が整った現場であれば、既存のLANに接続するだけで設備の監視や簡易制御を実施でき、既存設備を使用したIoT化を図れる。温度センサー、湿度センサーなど各種センサーに対応する。目的に応じたセンサーと接続して設備や環境の小さな変化を検知し、モニタ画面にグラフ表示したり、状況をメールで自動通知したりできる。

電子グループの井上隆登氏は「例えば、食品工場で食品を保管する冷蔵庫内での温度や湿度を一定に保つ必要がある場合に「アナログれんら君」で状態を常時監視し、異常があれば管理者にメールで通知することができ。また今回「アナログれんら君」に信号出力機能を併せたことで、生産加工機等の負荷状況を電流センサーで「見える化」し、異常があれば信号出力機能を活用して緊急停止することもできる」と述べた。